

QCA は臨床効果を判定するのに簡便な方法である。

.解析の手順

手技のレビューを行い、解析する範囲を同定する。キャリブレーションし QCA による Edge detection を行いステント位置の指定を行う。また Edge の指定と損傷部の指定を行いデータの入力を行う。

誤差の生じる要因として

Calibration Catheter size (4Fr のカテはデータにならない) Fill in 又は Empty Angiogram 不十分な造影、 Frame rate、 不適切な segment、 side branch の影響

個々の症例に QCA の誤差は 0.2cm 程度存在する。

.解析フレームの選択

造影剤が充満しているフレームであること

拡張末期であること

病変が長く重ならないこと

.QCA で分かること

MLD、CMS、Reference diameter、%diameter、Plaque area

.QCA に適さないフレーム

Calibration 不能の angio

Guide wire が挿入されたままの angio

Guiding のはずれた angio

.良い QCA を計測するために

Catheter の先端が画面の中央にあること

記録をしっかりと残すこと

4Fr でないこと

Follow と同じ view であること

である。